

## トピックス 第28回鉄道総研講演会を開催しました

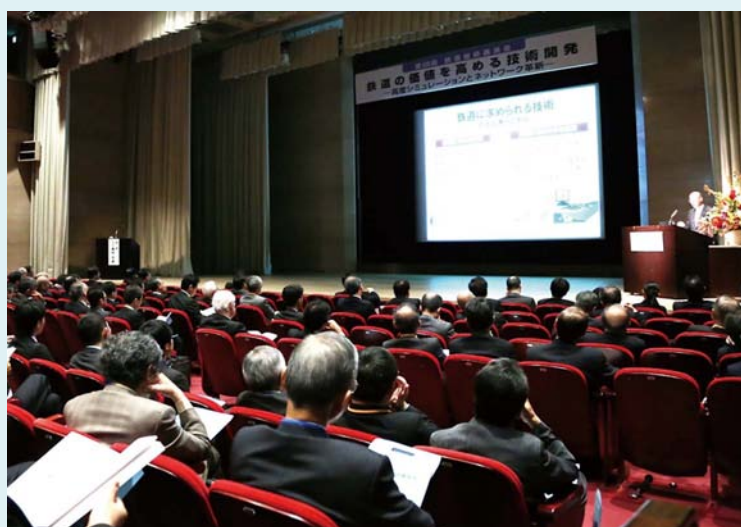
2015年11月6日に、有楽町朝日ホールにおいて、「第28回 鉄道総研講演会」を開催しました。

鉄道の現場では車両・軌道・設備などの管理データ、気象・地震などの観測データが日々取得されています。これらの多種・多数の観測データをネットワークで結合して収集し、数値シミュレーション技術と組み合わせることで、状態監視だけでなく、実際には観測が難しい部位・地点を含めた状態の推定が可能となります。さらにこれらのデータ収集、シミュレーションのリアルタイム処理が実現できれば、オペレーションに必要な情報を随時把握することが可能となり、鉄道の特長である安全性・信頼性、環境との調和、快適性・利便性、経済性などの機能をさらに向上できると考えられます。

そこで、今回は「鉄道の価値を高める技術開発—高度シミュレーションとネットワーク革新—」をテーマとしました。はじめに東京大学生産技術研究所教授、加藤千幸様に特別講演として、スーパーコンピューター「京」を利用した大規模・高度シミュレーションの最新の成果と、それがもたらす産業上の効果についてご紹介いただきました。特別講演に続き、鉄道総研からシミュレーションとネットワーク技術をリアルタイムに融合すること

により鉄道の価値を向上させる取り組みに関する基調講演のほか、気象災害ハザードマップ、沿線環境保全、電力制御のリアルタイム化、構造物の状態監視、輸送ネットワーク、地震情報の個々の分野における研究開発の現状、ならびに将来に向けた展望について発表しました。

なお、今回の講演会には、鉄道事業者をはじめ官公庁、大学、一般企業から約400名の方々にご聴講頂き、さまざまな分野でのシミュレーションやネットワークなどテーマに沿って活発なご質疑を頂きました。



第28回鉄道総研講演会